

# シンポジウム

「経済教育：次期学習指導要領に  
即した教え方」

「幸福，正義，公正」をどう教えるか

広島県立呉昭和高等学校  
峯 本 英 紀

# 発表の概要

## 1 「幸福・正義・公正」とは

社会の在り方を考察する基盤

## 2 教材開発の視点は

現代社会の課題を枠組みでとらえる

## 3 中学校との違いは(補足)

中学は生活の中の具体的事例から  
高校は現代の諸課題を通じて

1 「幸福・正義・公正」とは

# ①なぜ取り入れられたか？

2008年1月 中教審答申

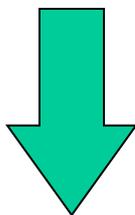
- ・ **倫理領域**の内容を充実
- ・ 専門的な知識，概念や理論及び倫理的な諸価値や先哲の考え方などについて理解させる
- ・ 客観的で公正な見方や考え方と**人間としての在り方生き方についての自覚**を一層深めることを重視

## ②どう扱えばよいか？

社会の在り方を考察する基盤



現代社会における諸課題をとらえる枠組み  
として相互に関連させて扱う



いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる

### ③相互の関連は？

正義

「平和で民主的な国家・社会は？」を考察する

幸福

対立・衝突

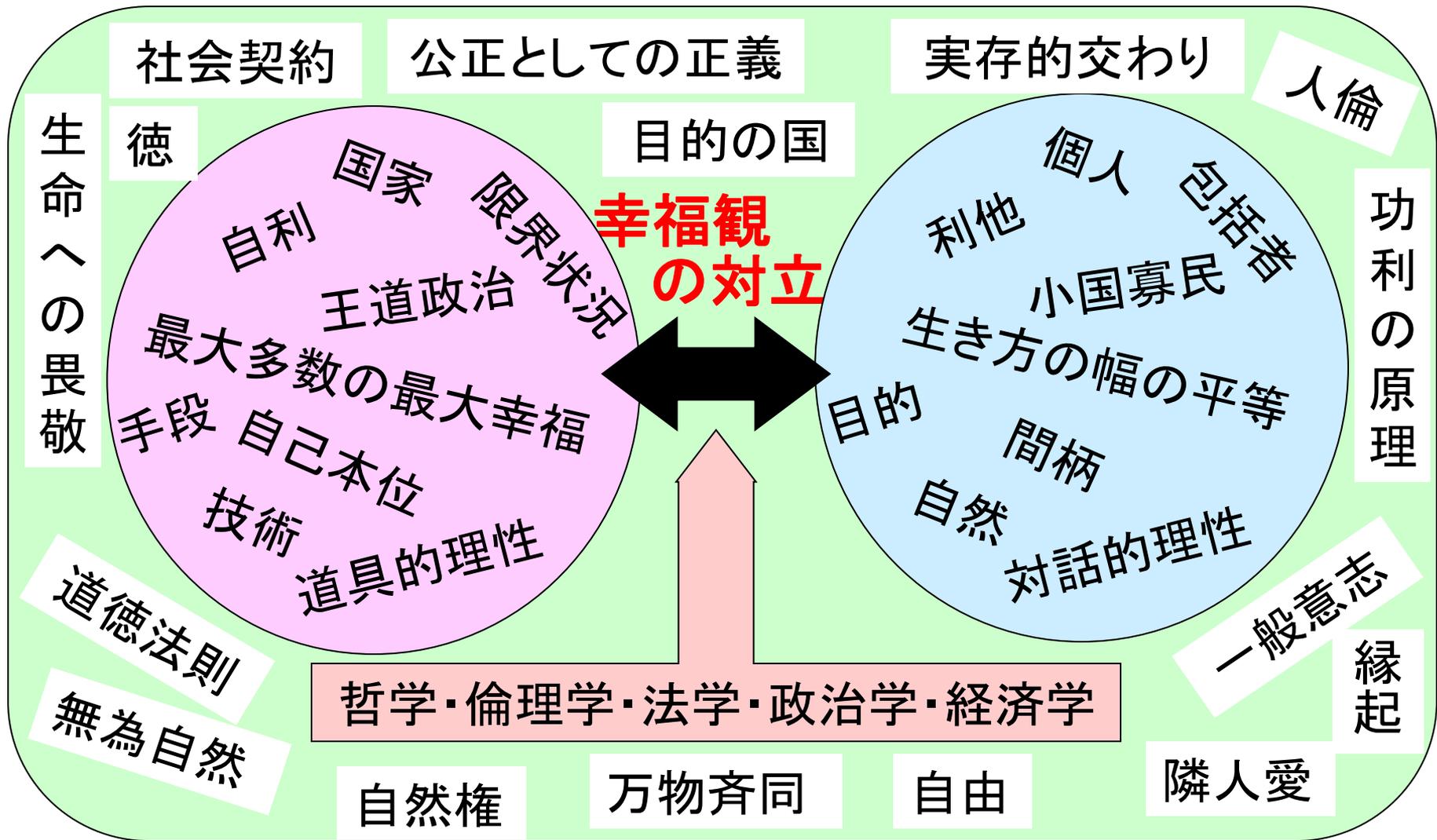
幸福

調整

方法・手続・状況・取扱・利得・影響

公正

# ④倫理(先哲の思想)との関わりは？



## 2 教材開発の視点は

# ①各項目における位置づけは？

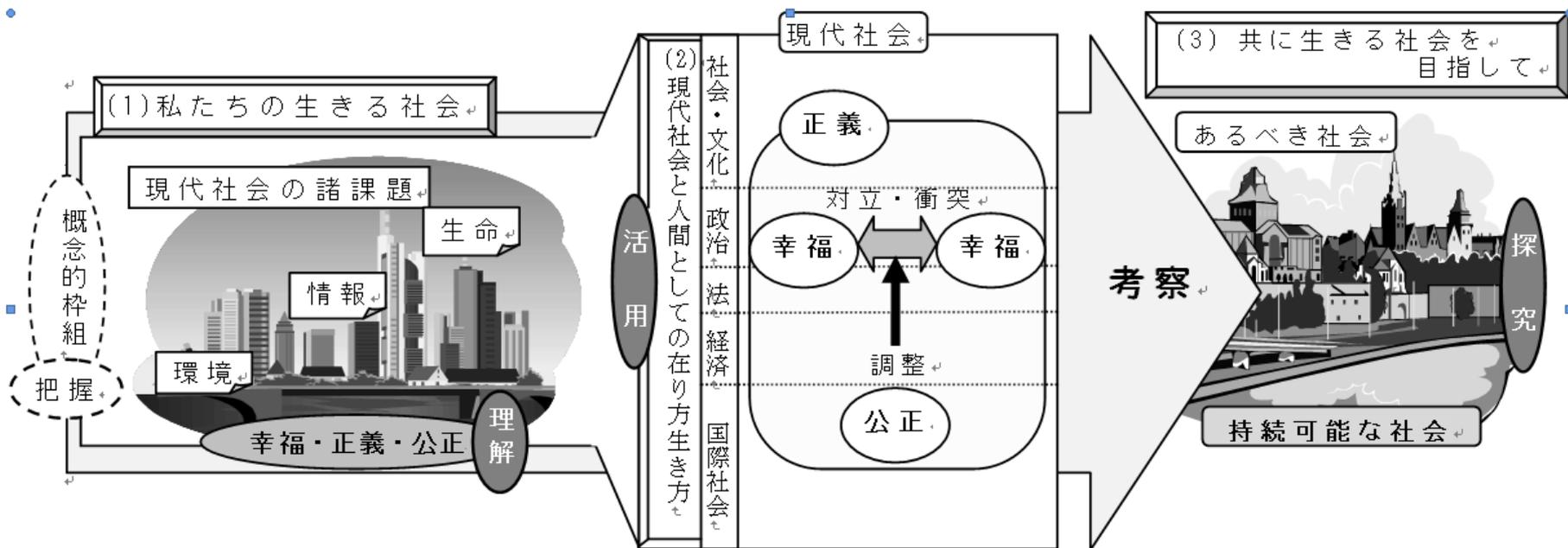
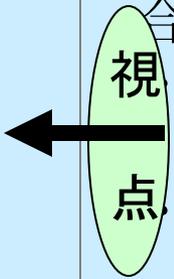


図 各内容における「幸福・正義・公正」の位置づけ

## ②大項目(1)で具体的には？

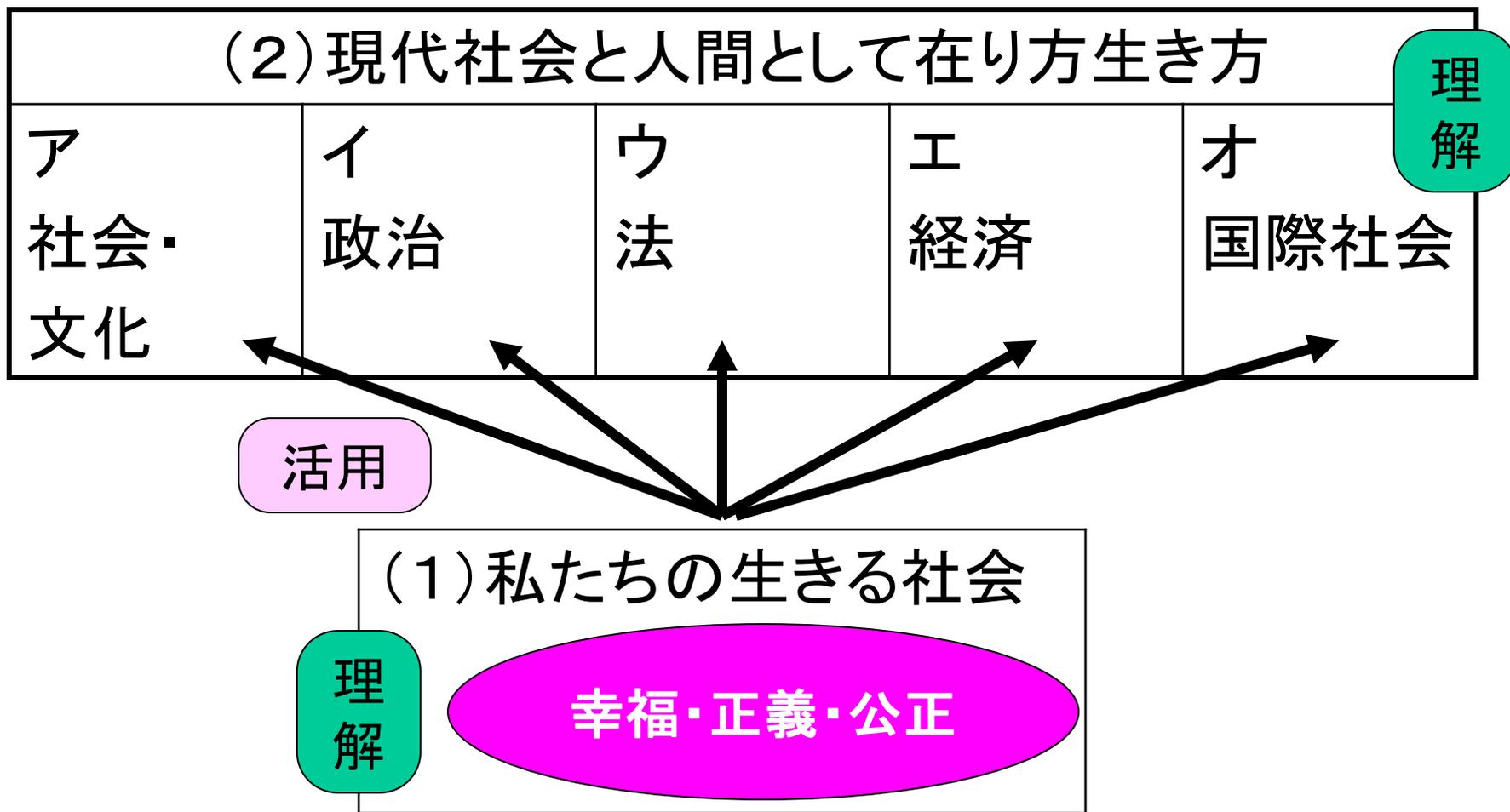
- 生命～技術の進歩による生命観の揺らぎ  
手段 ↔ 目的 「人格」とは？
- 情報～情報の取扱いに関する権利の衝突  
個人 ↔ 国家 「自由」とは？
- 環境～現役世代と将来世代の受益の対立  
技術 ↔ 自然 「公平」とは？

# ③授業の展開は？

<b>理解</b>	「生命・情報・環境など」に関する対立状況において <ul style="list-style-type: none"><li>・どのような権利が主張されているのか</li><li>・どのような価値観が並び立っているのか</li></ul>	<b>幸福</b>
	 <p>合意形成を図る過程やその結果において</p> <ul style="list-style-type: none"><li>対等な一員として適切な配慮を受けているか</li><li>合意形成を図る手続きに、適切に参加することが可能か</li><li>合意形成の場において公平に尊重されているかどうか</li></ul>	<b>公正</b>
<b>考察</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現行制度や規範は何を実現しようとしているか</li><li>・どのような解決策があるか</li></ul>	<b>正義</b>

## ④大項目(2)では？

- 大項目(1)で**理解(習得)**した枠組みを**活用**



## ⑤大項目(3)では？

指導すべき領域や分野が具体的に示されていない



指導上の視点，観点，条件，配慮事項を提示



社会の持続可能性が危ぶまれる課題を取り扱う

世代間の公平 貧困削減	地域間の公平 環境の保全と回復	男女間の平等 天然資源の保全	社会的寛容
----------------	--------------------	-------------------	-------

補足

3 中学校との違いは？

# 位置づけは？

- ・ 対立と合意, 効率と公正

現代社会をとらえる見方や考え方の基礎

- ・ 幸福・正義・公正

社会の在り方を考察する基盤

# 取扱いは？

- ・ **対立と合意，効率と公正**

社会生活における**物事の決定の仕方，きまりの意義**について考えさせ，理解させる

社会生活に見られる**具体的な事例**を取り上げて考えさせていく

- ・ **幸福・正義・公正**

現代における諸課題（生命・情報・環境など）を扱う中で理解させる